

## 2022事業年度第2回通常理事会議事録

- 1 開催日時 2023年2月6日(月) 13時55分～15時10分
- 2 開催場所 宇部市文化会館 2階 研修ホール
- 3 理事現在数及び出席理事数並びにその氏名  
理事現在数 12名  
出席理事数 11名  
出席した理事の氏名 福本陽平 宮崎 毅 渡邊裕志 渡邊祐二 下郡ひづる 藤井茉莉  
富田尚彦 白砂祐子 石田雅司 谷口奈津枝 吉村一美  
欠席した理事の氏名 馬場良治
- 4 監事現在数及び出席監事氏名  
監事現在数 2名  
出席した監事の氏名 中嶋羊治 片岡謙蔵
- 5 議長の氏名 福本陽平
- 6 議事録署名人の氏名 福本陽平 中嶋羊治 片岡謙蔵
- 7 議事  
第1号議案 公益財団法人の認定申請について  
第2号議案 2023事業年度の事業計画について  
第3号議案 2023事業年度の収支予算について  
第4号議案 定款変更案及び規程等の一部改正について  
第5号議案 公益認定に伴う規程等に含まれる法人名称中の「一般財団法人」の文字の「公益財団法人」への一斉変更について  
第6号議案 2022事業年度第3回臨時評議員会の開催について
- 8 議事の経過及びその結果  
(1) 定足数の確認等  
理事12名のうち、過半数以上が出席しているので、本通常理事会は適法に成立。  
定款第38条の規定により、福本理事長が議長に就任した。  
(2) 議案の審議状況及び議決結果等  
理事長の職務執行状況の報告について  
定款第27条第4項の規程により前回の理事会以降の職務執行状況の報告があった。  
第1号議案 公益財団法人の認定申請について  
議長の求めに応じ、事務局より公益財団法人の認定申請について説明の後、議長により出席理事に質疑等の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったので、賛否を諮ったところ、原案どおり出席理事全員異議なく承認可決した。  
第2号議案 2023事業年度の事業計画について  
議長の求めに応じ、事務局より2023事業年度の事業計画について説明の後、議長により出席理事に質疑等の意見がないか求めたところ、下記のとおり質疑があった。

富田理事

事業計画作成にあたって、宇部市第三次文化振興ビジョンと連動しながらとのご説明が先程ありましたが、それとは別に財団で中長期的な計画はございますか。

事務局（事務局長 白石）

単年度ごとの計画は今お示ししましたとおりですが、さらに大きい事業計画につきましては、宇部市の総合計画・基本構想、実行計画、文化振興ビジョン等をもとに、また時代背景や市民のニーズを鑑み、指定管理を受託する際に、5年間の中期的計画を策定して取り組んでおります。現在の指定管理が2019年度から2023年度までとなっており、この間の中期的な事業計画を定めて取り組んでいるところで、2023年度が最後の年となります。現在の5年間の中期的実施テーマは「人と人 人と文化をつなぐ 会館に集い・出逢いの場に」であり、単年度ごとにもテーマを設けており、2022年度は「感動発信 観る・聴く・出逢う・育む」で、2023年度は「文化の薫るまちうべからのメッセージ 祐策マインド 再び・先人の偉業に思いをはせる」としております。

なお、今年の夏から秋ごろには、2024年度からの次期指定管理者の募集があると思いますので、それに合わせて新たな中期的事業計画を策定していきたいと考えております。

富田理事

中期的な計画の中で、柱となる取組はありますか。

事務局（事務局長 白石）

中期的な計画を立てる時の自主文化事業の柱として、「地域や施設の特性を活かした事業」「文化活動者との協働推進ができる事業」「市内外、県外の文化施設と連携した事業」「宇部市の人材（アーティスト）を活用し、支援する事業」「親子や青少年の文化芸術の鑑賞機会の充実を図る事業」「鑑賞公演とワークショップ等を連動させた事業」「国内外の質の高い舞台公演の鑑賞機会の提供を目的とした事業」「文化芸術の愛好者の拡大につながる事業」「文化に触れる機会の少ない層への普及拡大を図る事業」「国、公益法人、企業の資源を活用できる事業」という10本の柱を掲げており、特定のジャンルに偏ることなく渡辺翁記念会館、文化会館の特性を活かして文化芸術を提供していきたいと考えております。

富田理事

その中で、5年間でどの程度まで持っていくという指標等がありますか。

事務局（事務局長 白石）

先程もご説明いたしました現在の5年間の中期計画の中に財団のミッション、目的、中期的実施テーマとともに目標数値というのも定めております。目標数値に関しましては、例えば自主文化事業についていえば、入場率、顧客満足度、新規顧客獲得率、アンケート回収率等をジャンル別に定量的に数値として目標値を定めております。

2020年度からのコロナ禍により、事業が実施できなかったことや入場者の激減、紙媒体によるアンケートの停止等もあり、実績数値が測定できませんでしたが、ここに至ってコロナによる影響が少なくなってきたことから、紙媒体によるアンケートを復活し、2023年度は、コロナ前の2019年度目標数値に戻すこととし、実績数値もしっかり把握してPDCAサイクルによる事業の向上を図っていきたいと考えております。

目標数値を具体的に申し上げますと、入場率は、クラシック系が68%、その他音楽が76%、古典芸能が80%としております。また、顧客満足度は80%以上、新規顧客獲得率は40%以上としており、さらに社会的目標として、アウトカムにあたります予測される波及効果を定性的目標としてお示しし、取り組むこととしております。

富田理事

目標数値が折角あるということですので、2023年度の事業計画に対しての目標数値を考えておられましたら後日ご提示いただきたい。そしてそれをもとに1年間行った事業の成果を私共がしっかりチェックできるようにしていただきたい。

事務局（事務局次長 山本）

補足ですが、やはり鑑賞者というのは一概に年度ごとに一定程度増えるのではなく、クラシックの好きな方はクラシック、昨日春風亭一之輔さんが笑点メンバーに選ばれたことで、本日多くの方が買いに来られておりますが、古典の好きな方は古典と、それぞれのジャンルで好きな方がいらっしゃるの、財団としても横断的な鑑賞者開発をしていかないと今後はベースは増えていかないので、様々な工夫をしているところです。やはりポップスは、去年の近藤真彦さんのように県外からも一過性のファンのような形でいらっしゃっても台風が過ぎ去るように去っていかれます。

やはり財団としては、新規の顧客だけではなく財団の行う事業はよいものだと行って下さるリピーターを増やしていくというのも今後、目標として掲げていく必要があります。

下郡理事

情報発信について、新聞をとってはなく、テレビや雑誌もあまり見ないような若い世代に向けては、インスタ、ツイッター、ユーチューブ等を活用して発信していくということでしょうか。インスタがあまり更新されていないようなので質問させていただきました。

事務局（事務局次長 山本）

ご指摘ありがとうございます。情報をどのように広めていくのかが今現在、財団の課題です。ホームページやフェイスブックはこまめに更新しておりますが、インスタは更新できておりませんでした。今後メディアミックスで効果的な情報発信ができればと考えております。テレビをあまりご覧にならない方もおられるので、情報をどう届けるのか、例えばTverでもCMが入れられるとか、インスタでも地方のCMが入れられるとかがありますので、今後検討していきます。

他に質疑等がなかったため、出席理事に賛否を諮ったところ、原案どおり出席理事全員異議なく承認可決した。

### 第3号議案 2023事業年度の収支予算について

議長の求めに応じ、事務局より2023事業年度の収支予算及び資金調達及び設備投資の見込みについて説明の後、議長により出席理事に質疑等の意見がないか求めたところ、下記のとおり質疑があった。

富田理事

参考資料に自主文化事業、宇部市共催事業、指定管理事業とありますが、自主文化事業というのは、財団が稼いだものだけでなく財団が企画したものが入っているということでしょうか。

事務局（事務局長 白石）

指定管理の要件として、渡辺翁記念会館、文化会館の管理の他、自主文化事業を行うと  
いうことがありますので、財団が企画立案をし自主文化事業を計画実施しております。

富田理事

わかりました。それでお願いですが、財団がどれだけ頑張ったかがわかるように財団が  
稼いで行った事業と市の補助金を使って行った事業を参考資料でよいのでわけることが  
できますか。財団が自主財源で行った事業が今後増えていけば財団がどんどん大きくなっ  
ていくことがみえてきますので、そこがわかるようにしていただければということです。

事務局（事務局長 白石）

自主文化事業の中に財団が独自に行うもの、宇部市が共催で財団が主催のものは分ける  
ことができますので今後お示しできると思います。

補足ですが、公益財団法人になった場合、公益目的事業の収益はそれに掛かる経費と同  
じか少なくなければいけなく、公益目的事業をどんどん増やして収益が上がってもそれ以  
上に経費を使わないといけないので、公益になったからといって財団が大きくなるとい  
うことにはなりませんのでよくご理解をいただきたいと思います。

富田理事

色々と自主文化事業を行っていただき、その収益でさらに市民が文化に触れあうような  
事業を行っていただきたいという思いで言わせていただきました。やはり公益財団になら  
れるということなので、しっかり市民に還元していただくようお願いします。

他に質疑等がなかったので、出席理事に賛否を諮ったところ、原案どおり出席理事全員異議  
なく承認可決した。

#### 第4号議案 定款変更案及び規程等の一部改正について

議長の求めに応じ、事務局より定款変更案及び規程等の一部改正について説明の後、議長に  
より出席理事に質疑等の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったので、賛否を諮っ  
たところ、原案どおり出席理事全員異議なく承認可決した。

#### 第5号議案 公益認定申請に伴う規程等に含まれる法人名称中の「一般財団法人」の文字の「公益財団法人」への一斉変更について

議長の求めに応じ、事務局より公益認定に伴う規程等に含まれる法人名称中の「一般財団法  
人」の文字の「公益財団法人」への一斉変更について説明の後、議長により出席理事に質疑等  
の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったので、賛否を諮ったところ、原案どおり  
出席理事全員異議なく承認可決した。

#### 第6号議案 2022事業年度第3回臨時評議員会の開催について

議長の求めに応じ、事務局より臨時評議員会の開催について説明の後、議長により出席理事  
に質疑等の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったので、賛否を諮ったところ、原  
案どおり出席理事全員異議なく承認可決した。

以上をもって全ての議案の審議を終了したので、15時10分に議長は閉会を宣言し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事は記名押印する。

2023年2月6日

理事長 福本陽平

監事 中嶋羊治

監事 片岡謙蔵